

令和3年度茨城県小中学校長研究協議会（神栖市・小学校部会）報告
テーマ：感染症対策を踏まえた働き方改革

【協議の概要（要旨）】

- ・行事の縮小、見直しについて
- ・効果的なICT活用について
- ・PTAの再構築や市との連携について

1 効果を上げた具体的取組

- (1) 遠足・校外学習の統合、運動会を学校行事から体育の授業へ→時数の確保
- (2) 日課の見直し→清掃は週3日、金曜日5時間授業、放課後の時間確保
- (3) 学校内での取組の見える化
- (4) スクールサポーターの運用→固定化しないで、学校全体でバランスよく
- (5) 学習発表会から通常の授業参観へ
- (6) 始業時刻を早めて放課後確保
- (7) 退勤時刻を申告制に
- (8) オンライン等を活用して校外活動を縮減
- (9) 朝の時間をモジュール化して時数の確保
- (10) ドリル等の丸つけは、児童や保護者へ依頼
- (11) メールシステムの変更→各保護者へのケア

2 令和4年度以降の取組

- (1) 新しい生活様式に基づく取組
 - 学校行事の見直し→コロナ禍の現状を基準として
 - 集会活動にオンラインを取り入れる
 - アンケートのICT化、メール等の活用
- (2) 通常の生活に戻った後、取り組むべき取組
 - PTAの再構築→コミュニティスクールとの関係性
新規の取組への負担

3 今後の課題と対策

- ・朝の健康観察→ICTの活用
- ・感染対策の徹底と教育活動の充実
- ・35人学級の更なる進展、市独自の取組も（弾力化）